

<https://nanao-sh.metro.ed.jp/site/zen>

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今回は、教職員を対象に実施した「ICT利活用研修」についてご紹介いたします。研修では、タブレット端末を使ってアニメーション付きのプレゼンテーションソフトのスライドを作成する実践的な内容に取り組みました。

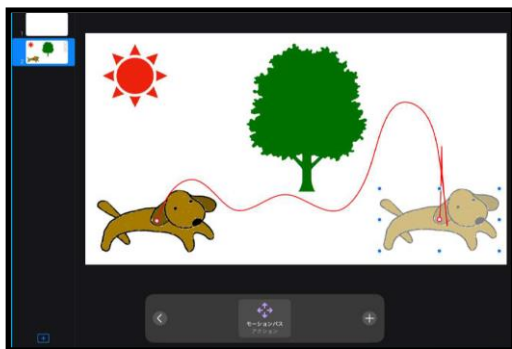


ICT利活用研修

～「犬の散歩」スライドづくり研修を行いました～

今年度より ICT 運用コーディネート業務として、株式会社内田洋行へ業務委託し、定期的に研修を実施しています。9月の研修では、タブレット端末に入っているプレゼンテーションソフトを使って、紙に描いた犬のイラストが録音した音声に合わせて画面の中を散歩するスライドを作りました。アナログとデジタルを組み合わせた教材づくりを通して、ICTの可能性に触れる機会となりました。

ICTの操作方法を学ぶだけでなく、それを児童・生徒の学びにどう活かすかを意識しながら取り組みました。一人一人の特性に応じたICT教材の開発と実践をさらに進め、子どもたちの可能性を広げる教育の実現を目指します。



ICT機器の紹介

校内には、ほぼすべての教室や特別教室に無線Wi-Fi（ワイファイ）が整備されており、どこにいても安定した接続が可能です。校内のあらゆる場所で多数の端末を同時にインターネットに接続することができるため、授業の幅が広がります。





ICT機器の活用

～Microsoft Teams で広がる学びの場～

Microsoft Teams には、画面共有ができる会議機能があります。Wi-Fi 環境さえ整っていれば、モニターや接続コードがなくても、どこでも画面を共有できるのが特徴です。児童一人一人が手元の GIGA スクール端末で同じ画面を見ることができると、見やすく、集中しやすい環境が整います。

6 年生の国語・算数のバナナグループでは、この機能を活用し、教員用端末の画面を、児童は自分の GIGA スクール端末で共有しながら授業を進めています。教室の前方に置かれた教員用端末を児童が順番に操作し、課題に取り組む様子を他の児童が自分の GIGA スクール端末で確認するという方法で活用しています。互いの考えや取り組み方を共有することで、自然な学び合いが生まれています。

ICT の力で、柔軟な学びが広がっています。今後も、子どもたちの理解や関心を引き出す授業づくりを進めていきます。



～生成 AI を活用した教材づくり～

生成 AI を活用して「繰り上がりのある足し算」の教材を作成し、6 年生の個別学習で活用しています。ボールを動かして 10 のまとまりをつくることで、数のまとまりや繰り上がりの仕組みを自然に考えられるようになり、計算のイメージがつかみやすくなっています。また、採点機能があり、正解すると次の問題が自動的に出てきます。児童は自分のペースで、繰り返し問題に挑戦でき、楽しみながら力を付けていける仕組みです。

生成 AI などの技術を活用することで、学び方にも新たな広がりが見られています。

